

Community Design Cafe

コミュニティ・デザイン・カフェ(CDC)

たくさんの人が集い、「コミュニティ」を「デザイン」する
そんな「カフェ」のようなセンターを目指します

CDC News Vol.027 2007.03
生きがいしごとサポートセンター阪神北

今年度のCBの起業傾向と内容について

センター長 森 綾子

2006(平成18)年度、当センターが支援したコミュニティ・ビジネス(以下CB)の起業団体は約31団体になる予定です。ここ3年くらいはだいたい同じペースです。起業が急増する時期から安定して伸びてゆく時期に入ったと思われる。

それに反して相談件数は、昨年より26パーセント増えています。

内訳としては、助成金獲得相談は79件(19年2月末現在)で倍増。登記申請、定款変更や役員変更の手続きの相談は178件。法人設立は213件、運営相談も228件とグーンと増えています。

これは今まで100以上もの団体の起業を支援してきたので当然といえば当然かもしれません。

相談事業の総数は698件、月平均64件で、1日あたり3件!!と、言う訳でこの1年の印象は、とにかく“相談に追われた毎日”でした。

これだけ多くの相談を受けることができるということは、生きがいしごと事業を受託してきた丸5年の日々の成果だと本当にうれしく思っています。

起業の傾向としては、高齢者の介護保険関係は1件でほとんど増えなかったのに反して、自立支援法の関係で障害者支援の団体(授産所)の起業が相次ぎました。

今まで任意団体で行っていた活動も法人格が必要となり、駆け込みで10月の実施に間に合わせるころが多かったからです。

でも、これから授産所はどうなるのでしょうか。

支援法以後、三障害(知的・身体・精神)が一緒になり、どんな障害の人が来ても受け入れる形になったため作業所を増やすか、新たなメニューを増やすかなど事業の変革が迫られています。

31の起業団体のうち新規は28件。

事業内容は

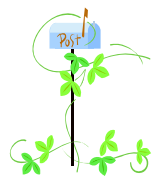
- ・まちの再発見
- ・認知症家族のカウンセリング
- ・福祉施設紹介アドバイス
- ・障害者の小規模作業所
- ・加害者向けのカウンセリング
- ・おばあちゃんの子育て支援
- ・神社の森の保全
- ・理髪師の訪問理容サービス
- ・女子サッカーの普及と指導者の育成
- ・まちづくり協議会の学童保育
- ・テニスの普及と指導者の育成
- ・ミンダナオ島での遺骨収集
- ・訪問カウンセリング
- ・田舎暮らしの勧め などなど

NPO 法人の全分野にわたる多種多様ですばらしい起業がうまれています。

今年の特徴としては、以前はすでに市民活動を行っていた団体がNPOやコミュニティ・ビジネスに移行するところが多かったのですが、最近はだんだんと一般化して自分の特技を生かして仲間と起業していく人たちが増えてきています。

当センターは相談を重視しています。多くの相談を受け、法人を取得するための事業計画書を、こつこつ団体と一緒に作成しながら、同じ目線に立って考えることが一番大切だと思っています。

来年度も、更なる飛躍に向けてがんばります。



活動報告(2006年4月~2007年2月)

続けてきたこと、続けてゆくこと。



今年度で生きがいしごとサポートセンター事業は5年目を迎えました。

18年度の事業テーマは『ブラッシュ・アップ』そこで目標として、

- 個別相談(チーム制)の更なる充実
 - 就労相談(キャリアカウンセリングを含む)の充実
 - 新規起業・法人設立の支援
 - 起業後 間もない団体への基本的な運営支援
 - 離陸団体の経営・組織面の継続的フォローアップ
 - 時代を先取りするネットワークの提案と構築
- をあげ、この1年活動をしてきました。

内容	14年度	15年度	16年度	17年度	19年2月まで	前年同月比
来場者数	2649	2530	2064	2568	2630	112%
HPアクセス件数	4980	11451	11334	43691	161959	404%
面接者数	758	1522	2009	4015	2959	80%
電話/FAX相談数	1429	2373	3254	4497	4022	98%
e-mail相談者数	717	1469	1598	4138	2250	59%
起業希望者数	147	213	254	474	421	97%
求職者数	219	175	114	112	123	120%
就職成立者数	54	20	24	28	40	156%
起業団体数	7	27	40	34	31	99%
従事者数	91	275	363	247	203	99%
講座等参加者数	673	516	1020	2496	445	19%

来場者数は、4月に駅ビルに移転し、宝塚NPOセンターと同じ場所になったため、通りがかりにいろいろな相談をしていけるケースが増えました。

今年度の大きな変化としては、HPアクセス数が4倍になっている点です。これは昨年度から連続で実施しているブログ講座の結果、参加団体も増えブログを通じてHPへもアクセスが急増しました。

新しいITの活用はこれまでのツールとは違った「即効性」に優れているという特徴が活きました。

相談業務(起業・法人化・運営支援)

相談業務は最も重要な課題として取り組みました。内容としては、新規立ち上げ団体に加え、既存団体の資金や組織に関する運営面での相談がとても増えています。内容は、例年に比べ個々の団体特有の質問が多くなっているため、1件あたりの相談時間は増加傾向です。また面接者数については、件数的には増えていますが、以前に比べグループでなく

個人で来られる方のほうが増え、1団体当りの来訪者が少なくなっているためです。

また、相談事業を支えてもらう会計税務の専門家集団との連携強化ができたことも収穫でした。

次年度に向けては新規立ち上げ団体プラス継続団体へのサポートがより一層必要となると予想されます。せっかく生まれたものを、大切に育てるためにも、起業支援は「立ち上げ後2~3年の団体の支援がどこまでできるか」が重要なポイントとなってきました。

職業紹介(就業・情報提供支援)

この事業を5年間継続してきた事で、求職者、就職成立者は増加し、順調な推移をたどっています。

また景気が上向いている事情をうけて、介護ヘルパーなど分野によっては求人難という場面も出てきています。

気になるのは、長年勤めた会社をリストラで辞めた後、何度面接を受けても採用に至らず、「何十年もきちんと勤めてきたのに、自分に自信がなくなった。このところ家に引きこもって妻にもつらくあたる自分をどうしていいかわからない」というような好景気とは裏腹な相談や、70歳を過ぎても有償で働きたいがどこも受け入れてくれるところがないなど、一旦ハローワークなどで相談された後も、なかなか解決しづらい厳しい事情を抱えている方の来所も増えています。

講習会/CBゼミナール/交流会

今年度は県下の5生きサポ合同フォーラムの開催を行なわなかったため、参加者数に変化がありますが、内容としては濃いものになりました。

年間を通じ情報発信としてのブログ講座を6回、阪神NPO連絡協議会のネットワークを生かして、「指定管理者制度の検証」や「海外の先進的事例紹介を含むCB事情」の講演会、起業家カフェの開催。

会計スタッフやリーダーのための研修など、団体自身のスキルアップと共に、分野を超えた団体同士の交流を図る場の運営も行なえました。これまで誰に相談すればいいのかわからなかった課題が解決できてよかった!という感想もいただいています。

これからも、一層地域に貢献できる支援を続けていきますのでどうぞよろしくお願いたします。

新米事務局のための実務講座

助成金の会計、勘どころ教えます

年度末が近づくとそろそろ報告書をはじめ、書類をまとめる準備にかからないといけませんね。特に助成金を獲得した団体は、通常の会計とは別にやっておかないといけないポイントがあります。

事前にわかっているならば、最小限の負担で作業をすすめることができます。



ちょっとその前に・・・

助成金や補助金(以下助成金で総称)なら「なんでも欲しい!」とお考えの団体もあるかと思いますが、それは甘い考えというもの。お買い物と同じく中味をよく吟味しないと苦勞をする場合があります。様々な助成金のなかで何を基準に選べばいいのか、「見分け方」はもうご存知でしょうか?



使い勝手のよい助成金の見分け方

金額:「できるだけ多いほうがいい!」などと欲深く考えてはいけません。まず団体にとって、なぜ・何に・どれだけ必要なのかを確認することが申請の第一歩です。

助成率:助成金の助成率に注意しましょう。助成金100万円の場合の半額助成とは、対象となる使用額が200万円あった場合には満額(100万円)支払われるという事。つまり自団体で100万円負担する必要があるということです。補助率は高いほうがいいですね。

一般管理費・人件費:助成される内容の中に「一般管理費 %」と入っているものは、領収書が不要の部分を示しています。事業をするに当たって細々としたものまで領収書がとれない場合の事も加味されているという事。またこれに人件費も含めてよいものもあります。どこまで認められるのかのチェックも必要です。

事務作業量:申請書作成時の作業と共にほとんどの助成金は報告書の提出を求められます。助成額に対してその作業量が多すぎるものは、「取らなければよかった」と後悔する結果にもなりかねません。必ず確認をしておきましょう。

競争率:倍率の高いものに応募する場合は費用対効果を考えて。継続的に募集している助成金の場合、過去の倍率等も調査しておきましょう。



では、本題!

なぜ助成金の会計が別に必要なのかといえば、報告書には会計報告が必須だからです。

そして理想の会計とは、事業報告書が出来上がると同時に、会計報告も仕上がっている状態。

つまり事業報告書がその都度、記録を(写真やデータなど)残しておかないと終了後にいくらあせっても作れないように、会計も遡ってやる事はできません。できたとしても非常に手間がかかります。また助成金によっては、途中経過を提出する場合がありますので、最初から体制を整えて臨みましょう。



勘どころ : 部門別会計

助成金を受けることが決まって、事業が動きだせば(入金時期ではなく)、これまでの会計処理とは別に、「助成金用」として1つ部門を作りましょう。イメージとしては『別の財布』という感じです。

勘どころ : 領収書の整理

別の財布になったのですから、その事業に関して支出した領収書は別に管理します。これまでの事業と同じものを購入する場合も、できるかぎり領収書は別にもらいましょう。

今後、事業を拡大していく場合も、すべて一緒につっこむのではなく、部門別会計で管理すれば、次のデータとしても活かせるので是非慣れましょう。

勘どころ : 絶対やっちゃダメ!なこと

×× 同じ領収書を複数の報告に使う。

×× 架空の領収書を発行してもらう。

これはどんな場合にも、絶対やってはいけません。大切な団体の信用も一瞬にして失いますので、会計を預かる方は心してください。

助成金はあくまで団体の事業をより充実させるために受けるものです。もらったあとに、明瞭でわかりやすい報告をする責任があるのは当然です。

出す側の立場であれば、どういう報告があれば『出しがい』があったと思えるのかも少し頭において豊かな成果が得られるようにしましょう。

(この内容は2/1実施の助成金会計講座を要約したものです)

講座・相談のお知らせ

印の実施場所は生きがいしごとサポートセンター阪神北です

情報発信：「新・ブログ講座」 2007年5月12日(土)・6月16日(土)

毎回 10:30~12:00 参加費：1000円(1団体)

エクセル&アウトルックを使った便利なメール斉送信のソフトをご紹介します。

上記は講座ではなくコンサルティング事業となります(出張可)。関心のある方はご一報下さい。

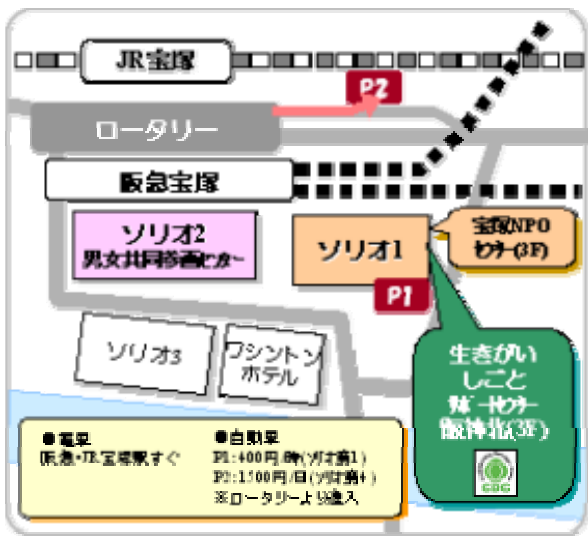
就業支援：あなたと仕事について考える「キャリアカウンセリング」(1回 50分)無料
事前にご予約ください。

またまた引越しをします！！

5月の連休明けに同じフロア内(ソリオ1・3階・第一会議室)に移動します。詳しくはホームページにてお知らせいたしますが取り急ぎお知らせまで。(住所 / TEL / FAX の変更はありません)

ひきつづき、お願い 従来よりお願いしておりましたニュースレターのお届け方法の件ですが、順次、郵送からE-mail送信(PDFファイル版)へ、切替えをさせて頂いております。なお過去のニュースレターはホームページからご覧いただけます。
<http://voluntary.jp/hnpo-net>

編集後記 2月~3月にかけて(特)保育ネットワーク・ミルクさんと連携して「保育サポーター養成講座」(全4回)を実施しました。参加者は現役ママに加えて孫が気になるグランマ世代。みんなで和気あいあいと学んだ事は、情報満載時代にあってもめざすべきは「正確な子育て」ではなく「適切な子育て=無視をしない・関心を持って寄り添う」こと。なるほどなるほど人間関係全般にも通じますね。連携講座って、現場に参加することの大切さを再確認させられ、目からウロコの山ができそう！ 保育サポーター講座受講の皆さん、この春ぜひ羽ばたいてくださいね~~(Y)



生きがいしごとサポートセンター阪神北
~コミュニティ・デザイン・カフェ(CDC)~
〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F
TEL&FAX 0797-87-4350/4351
E-mail [cdc@hnpo.net/](mailto:cdc@hnpo.net)
URL <http://voluntary.jp/hnpo-net/>



(特)宝塚 NPO センター
〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F
TEL&FAX 0797-85-7766/7799
E-mail zukanpo@hnpo.net
URL <http://voluntary.jp/zukanpo/>

「生きがいしごとサポートセンター-阪神北」は、兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいしごと支援事業」の補助を受けて、特定非営利活動法人宝塚 NPO センターが実施・運営しています。同事業は、生きがいしごとサポートセンター-播磨、生きがいしごとサポートセンター-神戸西(ウェクス)、生きがいしごとサポートセンター-神戸東(ワラビー)、生きがいしごとサポートセンター-阪神南(UN)の5拠点にて運営されています。